

昭和51年度 周辺樹林植栽工事 仕様書

1. 本工事実施の順序ならびに方法については 文部省発注工事請負契約基準、契約書、仕様書及び図面にもとづくものとする。
2. 本工事実施にあつては すべて誠意を旨とし かつ実施の詳細については 甲が通知した監督員(以下「監督員」という)の指示に従うこと。
3. 本工事についての仕様書及び図面に疑義あるときは 監督員の判定によること。
4. 本工事の順序は 針葉樹、落葉広葉樹、常緑広葉樹の順とする。

植穴

1. 植栽位置は 別紙実測図のとおりである。
2. 植穴の大きさは 目通り周囲0.15m以上のもの(ケヤキ、シラカシ、ヤマザクラ、フロマツ)は 直径1.2m、深さ0.8m以上とする。  
目通り周囲0.10m以下のものは 直径1.0m、深さ0.8m以上とする。
3. 工事は 樹種毎に 全部の植穴を掘ることから始め 掘上げ後 監督員の判定を受けること。

樹木の掘取り

1. ケヤキは 宮給品である。別図苗畑の位置にあり 目通り0.25~0.29m、樹高6mである。
2. その他の樹種は 請負者持込みとする。規格、数量、根鉢の大きさは 下記の通りとする。

樹種	規格	数量	根鉢	樹種	規格	数量	根鉢
シラカシ	H=40, C=0.15以上	88	0.5以上	ユズリハ	H=30, C=0.1以上	1	0.4以上
ヤブツバキ	H=30, C=0.10以上	5	0.4以上	アカガシ	H=30, C=0.1以上	9	0.4以上
スダジイ	〃	2	0.4以上	ヤマザクラ	H=40, C=0.15以上	3	0.5以上
クスノキ	〃	2	0.4以上	スギ	H=20, W=0.8以上	43	0.4以上
マテバシイ	〃	2	0.4以上	フロマツ	H=50, C=0.15以上	211	0.5以上
ウラジロガシ	〃	6	0.4以上	計		372	

1. 樹木は すべて根巻きを行なうこと。ケヤキの根巻きは、四つ掛二度巻きとし 根鉢の大きさは 直径75cm、高さ75cm以上とする。縄は径10cm以上のものを使用し 2本合せで行なうこと。その他の樹種については ミカン巻きとするが 根鉢が崩れぬようにすること。
2. 幹巻きは スギ以外の樹種にし 幹及び主枝の周囲をワラで厚薄のないうように包み、その上から 2本合せのシュロ縄を10cm内外の間隔で巻き上げる。巻き上げの高さは 2m以上とする。

植付

1. 樹木の掘取り後 植付までの時間は 出来る限り短くすること。
2. 埋戻しは 土締めとするが 根鉢の地表面から20~40cmの所で バーク堆肥40kgと鶏糞肥1kgを混合する。その後良質土と混ぜ合せて埋戻すものとする。
3. 埋戻し終了後 水鉢を作り すみやかに十分灌水すること。

保護・養生

1. 樹木の風除け支柱は スギのみ 一脚丸太柱とし 他樹種はすべて二脚丸太柱とする。
2. 支柱の規格は スギで l=1200 木口45, シラカシ・ケヤキ・ヤマザクラ・フロマツで l=1800 木口75, l=750 木口75, 他樹種はすべて l=1800 木口60, l=600 木口60である。木口75のものは フレオソート2回塗りとし 木口45及び60のものは CCA加圧注入処理のものとする。取付寸法は 別図のとおりとする。
3. 支柱は 南北に配列すること。
4. 樹幹との取付け部は すべて杉皮で巻き シュロ縄で動揺しないように割りばし掛けに結束し 控木の丸太と丸太の接合する部分は 釘打ちのうね鉄線掛けとする。  
釘及び鉄線の規格は N-125, 亜鉛引鉄線 井16とする。
5. 植栽にともなう樹木の枝すかしや剪定は 適度に行うこと。

その他

1. 植栽木の枯損等の処理は 工事完了引渡後 1年以内とする。
2. 植栽に当り 関係しない立木竹を損傷しないこと。
3. バーク堆肥は ゴールデンバーク堆肥(清水産林産業), キノックス(本州製改)及びこれらと同等以上の良質発酵したものを使用すること。また使用に際しては 20kg袋入りものを使用すること。
4. 目通り周囲とは 地上1.2mの高さの周囲とする。
5. 工事完了後は 各樹種(12樹種) 植栽前、植栽中、植栽後 各1枚とし 植栽完了後 各プロットの写真を 1枚ずつ撮影し 引渡すものとする。